

物語性のある映像を生成するための映像知識の応用に関する考察

宮本 凜

映画製作において、脚本を撮影前に事前に可視化することは、監督や演者などの映画製作に携わる人間がイメージを共有できるようになり、撮影や編集などの仕事の効率が良くなる。しかし、脚本を事前に可視化することは困難を伴う。本論文では、GPT-4 と Midjourney を使用して、脚本に基づいたストーリーボードを作成する方法を提案し、物語性のある映像を生成するための映像知識の応用に関する考察を行う。分析では、実際の映画の映像と生成されたストーリーボードを比較し、定性的な評価基準を定めることで、その効果进行评估する。分析の結果をもとに、生成したストーリーボードが実際の映画と一致している点、不完全な点をどのように改善すれば良いかを議論した。これにより、映画製作プロセスの効率化を目指し、物語性を持った映像の生成への手法を探求する。

(指導教員: 落合陽一、伏見龍樹)